

菊沢西小地域コーディネーター 大出安彦さん



Q 地域コーディネーターになったきっかけは何ですか？

校長先生からの勧めです。

子供の卒業にともない、私もPTAを卒業することになったのですが、当時の校長先生から、地域ボランティアとして引き続き携わってほしいとお願いされました。

菊西小では、年々子供たちが少なくなり保護者も減ってきていて、PTAの負担が増えていると実感していましたし、私自身この6年間でたくさんの仲間と知り合えて楽しくPTA活動ができたという思いもあり、何かお役に立てればということで、お引き受けすることになりました。

Q コーディネーターとしての研修などは受けましたか？

鹿沼市で開催している研修に参加しています。大学の先生の講義を聴いたり、地域と学校をつなぐ活動や学校ボランティア活動をしている方々と情報交換をしたりと、大変勉強になっています。また窓口である生涯学習課の職員の皆さんはいつも明るく元気な方たちばかりで、しっかりとフォローしていただき、楽しく受講しています。



Q コーディネーターの主な仕事は何ですか？

PTAを卒業した方々でつくっているボランティア団体「菊西サポート」とPTAの活動をつないでいます。

※大出さんはこの団体を立ち上げ、活動しています。

4年前に3人で始まった「菊西サポート」ですが、現在6人になりました。学校の行事やPTA活動のお手伝いとして一緒に活動しています。学校やPTA執行部からお手伝いの要請があればサポートメンバーに連絡し参加の段取りを行います。LINEで行事と日時を連絡し、参加の可否を返信してもらいます。もちろん参加はご本人の都合にお任せしています。

菊西サポート 活動紹介



菊西サポート（ボランティア）の合言葉
できる時にできることをする



この取材の日の「菊西サポート」の活動を紹介します。
この日は、菊沢西小学校の運動会でした。コロナ禍でなかなか楽しみを見出せていない子供たちのために運動会終了後に「駄菓子屋さん」を開催しました。
「わあ、これは食べたことがない。」「大きいスーパーボール当てたいな。」
など、子供たちのわくわくがたくさんみえた楽しい企画でした。

Q 学校と地域の連携はどのように行っていますか？

最初に学校の年間行事を教えてもらっています。その中で、

①PTA奉仕活動、除草剤散布 ②資源物回収（夏、冬） ③PTA球技大会
④運動会 は、毎年 の 定例行事の中 でも P T Aの負担も大きいことから、P T A
のサポートとして参加しています。

また、春から秋にかけては、校庭や学校周りや体育館駐車場の草刈りを行っています。通勤などで学校の草が伸びたなと感じると仲間に声を掛けあって休みの日に草刈をします。

Q コーディネーターのやりがいは何ですか？

一番は、子供たちや親御さんが喜んでくれることです。「ありがとう」と言われると嬉しいです。そして、仲間が広がっていくことです。近くに住んでいても知らない同士で過ぎてしまいがちですが、年々新しいP T Aの方や地域の方と知り合いになれることが楽しいです。

Q コーディネーターの苦労は何ですか？

私自身会社勤めで土日の出勤も多いので、平日の会議や研修には有給や代休を利用しています。

また、P T A行事は土日が多いため、年間行事を参考にし、早めに情報を入手して活動できる方を確保するようにしています。



Q コミスクでの連携・協働はどのように行っていますか？



まだ始まったばかりですので、これからだと思っています。コミスクで学んだことを今の活動に活かしていければいいなと思っています。

菊沢西小は、菊沢東小と合同でひとつの運営協議会を持ちました。菊沢地区の子供たちの健全育成や地域について話し合います。菊沢地区学校運営協議会は、令和4年度からの導入です。



Q 最後に何かお話ししておきたいことがございましたら…



菊西サポートは、「できる時にできることをする」というコンセプトで活動しています。仕事や家庭の用事を優先して、空いた時間にできることがあれば活動をしようという、実にゆ・る・いグループです。

これから菊西小を卒業されるPTAの皆さん、「菊西サポート」はいつでもWelcomeです。お待ちしております。

と、言いつつも、これからの若い方々が気の合う仲間同士で、私たちのようなPTAボランティア活動を継承して行ってほしいなと願っています。

菊西サポートを大きな組織にしようとは考えていません。それよりも、小さなグループがたくさん作られてそれぞれに活動できることが理想だと考えています。数年後には、菊西小にたくさんのPTAサポートが誕生していることを楽しみに、これからも仲間たちと「できる時にできることを」続けていきたいと思えます。

大出さん、取材のご協力ありがとうございました。

大出さんに、卒業しても学校に関わってほしいとお願いした校長先生のアイデアとお願いされた大出さんのお人柄、そして校長先生が異動してもその願いをしっかりと引き継いだ次の校長先生の誠実さ、どれが欠けても「菊西サポート」はできなかつたでしょう。そういったことを考えると「菊西サポート」は奇跡の団体と言えるかもしれません。

そして、大出さんが最後におっしゃっているような「組織にしない」という考え方も印象的でした。組織を超えた団体、個々の小さな団体の集まり…先日の研修会で、とちぎ市民協働研究会の代表理事で元宇大教授の廣瀬隆人先生がおっしゃっていた「**<地域>という言葉が抽象的すぎる。定義が曖昧。もはや地域は物理的な線引きではないのではないか。精神的なコミュニティになるのでは。人のつながりが切れたというが、コミュニティ感のずれではないか。**」という言葉がリンクしました。大出さんの考え方は、今後の新しいコミュニティを作っていくうえでの大きなヒントになるのではないかと感じました。

菊沢地区の学校運営協議会が設置されたので、「菊西サポート」の今後のますますのご活躍をお祈りします。これからも菊西地区、そして菊沢地区をよろしく願いいたします。インタビューで褒めていただいた職員とともに生涯学習課はこれからも皆様を応援していきます。

